

- 問1 持続可能な社会の実現を目指す「3R」という取り組みの中で、製品を製造したり購入したりする際に、廃棄物の発生そのものを抑制することを何と呼びますか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. リユース 2. リフューズ 3. リデュース 4. リサイクル
-
- 問2 持続可能な社会の実現に向けて導入が進められている太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないという利点があります。しかし、火力発電や原子力発電と比較した際に、発電の運用面で共通して抱えている課題があります。その内容として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 発電の過程で放射性廃棄物が発生するため、その最終処分場の確保が困難である。 2. 一度利用すると資源が枯渇してしまうため、将来にわたって利用し続けることができない。 3. 燃料となる化石燃料を海外からの輸入に依存しており、国際情勢の影響を強く受ける。 4. 天候や時間帯などの自然状況に左右されやすく、電力供給が不安定になりやすい。
-
- 問3 1997年に採択された京都議定書に関する説明として、その仕組みや当時の状況を踏まえて最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 開発途上国を含むすべての国に対し、経済発展を優先させない一律の排出制限を義務づけた。 2. 湿地の保全とその中に生息する動植物の保護を目的として、国際的な協力体制を築いた。 3. 絶滅のおそれのある野生動植物を保護するため、国境を越えた取引を厳しく規制した。 4. 先進国に対して、温室効果ガスの削減に向けた具体的な数値目標を割り当てて義務づけた。
-
- 問4 日本はドミニカ共和国において消化器疾患センターの整備を支援するなど、世界各地で国際貢献を行っている。このように、先進国の政府が開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上のために行う、資金や技術による協力を何というか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 非政府組織 (NGO) 2. 南南協力 3. 国連平和維持活動 (PKO) 4. 政府開発援助 (ODA)
-
- 問5 地球温暖化を防止するための国際的な取り組みが進められる中で、排出量の削減が特に重視されている物質があります。大気中に滞留して地表面からの熱を吸収する性質を持ち、排出削減の主な対象となっている気体の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. アンモニア・塩素 2. フロンガス・酸素 3. 窒素・アルゴン 4. 二酸化炭素・メタン
-
- 問6 発展途上国の農産物などをめぐる国際的な取り組みの一つである「フェアトレード (公正取引)」が、従来の貿易と異なり、生産者の自立を支援するために重視している仕組みとして最も適切なものを、次の中から選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 先進国の企業が主導権を握り、発展途上国の生産現場に直接介入して生産量を厳格に管理する仕組み。 2. 発展途上国の経済を直接援助するため、見返りを求めずに無償で資金や食料を寄付する仕組み。 3. 発展途上国の生産者の生活を支えるため、市場価格の変動に左右されにくい適正な価格で継続的に取引を引きする仕組み。 4. 先進国の消費者が安く製品を購入できるよう、発展途上国からできるだけ低価格で大量に農産物を買収する仕組み。
-
- 問7 発展途上国の生産者が生産した農産物や製品を、適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の生活改善や自立を目指す仕組みを何といいですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
1. フェアトレード (公正取引) 2. 政府開発援助 (ODA) 3. マイクロファイナンス (小口融資) 4. 自由貿易協定 (FTA)
-
- 問8 食品ロス削減のために、消費者が期限の迫った商品を優先して購入する際、指標となる「賞味期限」という言葉の説明として、正しいものはどれですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 食品添加物の使用量について、国が定めた安全基準を維持するために設定された法的な廃棄期限 2. お弁当や生菓子など、品質が急速に劣化しやすい食品において、安全に食べることができる期限 3. スナック菓子や缶詰など、比較的傷みにくい食品において、おいしく食べることができる期限 4. その食品が国内のどの地域で生産されたかを明確にし、消費者が安心して購入できる期限
-
- 問9 ごみの削減や環境保全に向けた取り組み (3R) のうち、回収した古紙などを処理・加工して新しい製品の原料や資源として再生利用することを何と呼びますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. リデュース 2. リファイン 3. リユース 4. リサイクル
-
- 問10 1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された地球サミット (国連環境開発会議) において、二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度を安定させることを目的として採択された国際条約は何ですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. 京都議定書 2. ウィーン条約 3. パリ協定 4. 気候変動枠組条約
-
- 問11 開発途上国で作られた農産物や製品を、単に安く買い叩くのではなく、生産者の生活を支えるのに十分な対価で継続的に取引する取り組みが行われています。貧困問題の解決や生産者の自立を促すことを目的とした、この「公正な貿易」を何と呼びますか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 垂直分業 2. 自由貿易 3. フェアトレード 4. 保護貿易
-
- 問12 二酸化炭素 (CO2) の累積排出量を分析した資料において、2015年までの過去100年間の排出割合は、工業化を早期に達成した国々が全体の約6割以上を占めています。この統計的事実に基づき、先進国に厳しい削減義務を課すべきだとする考え方を何と呼びますか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 環境税 (炭素税) 2. 排出量取引 3. 歴史的排出責任 4. カーボンニュートラル
-
- 問13 2000年から2020年までの日本における部門別二酸化炭素排出量の変化において、産業部門と運輸部門の排出量が減少した主な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 国内の工場のすべてが海外へ移転し、生産活動が停止したため 2. 日本国内の人口がこの20年間で半分以上に減少したため 3. すべての自家用車の利用が法律によって禁止されたため 4. 省エネルギー技術の導入や機器の効率化が進んだため
-
- 問14 1990年から2010年までの世界における二酸化炭素排出量の動向について、アメリカ合衆国、インド、日本、中国の4カ国の状況を説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. インドは、急激な経済停滞の影響を受けて、1990年代後半から排出量が減少に転じている。 2. 中国は、この期間を通じて常に世界第1位の排出国であり、一貫して増加を続けている。 3. アメリカ合衆国は、世界第2位の規模ながら5000百万トン台の高い水準で安定して推移している。 4. 日本は、環境政策の進展により1990年から2010年にかけて排出量を半分以上に削減させた。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 リデュース	3R（リデュース、リユース、リサイクル）のうち、最も優先順位が高いとされるのが、ゴミの発生を元から断つ「リデュース」です。これには過剰な包装を断ることや、製品を長く使うように工夫することなどが含まれます。一方、「リユース」は再使用、「リサイクル」は再生利用を指します。
問2	答え 4 天候や時間帯などの自然状況に左右されやすく、電力供給が不安定になりやすい。	太陽光発電は日照時間に、風力発電は風の状態に依存するため、人間の意図通りに発電量を制御することが難しく、電力を安定的に供給するためには蓄電池の活用や他の発電方法との組み合わせなどの工夫が必要となります。選択肢にある「放射性廃棄物」は原子力発電、「資源の枯渇」や「燃料の輸入」は火力発電（化石燃料）に関する説明であり、再生可能エネルギーの特性とは異なります。
問3	答え 4 先進国に対して、温室効果ガスの削減に向けた具体的な数値目標を割り当てて義務づけた。	京都議定書は、歴史的に温室効果ガスを多く排出してきた先進国の責任を重視し、法的拘束力のある削減目標を定めたものです。当時は途上国に削減義務を課さなかったため、のちに中国やインドなどの排出量が増加する中で実効性が課題となり、2015年のパリ協定ですべての国が削減目標を持つ仕組みへと変更されました。
問4	答え 4 政府開発援助（ODA）	先進国の「政府」が主体となって、開発途上国の発展のために行う資金や技術の協力は、Official Development Assistance（ODA）と呼ばれる。選択肢にある非政府組織（NGO）は「民間」の立場で行う活動であり、国連平和維持活動（PKO）は国連が紛争地域の平和維持のために行う活動であるため、それぞれの定義の違いを明確にしておく必要がある。
問5	答え 4 二酸化炭素・メタン	温室効果ガスには複数の種類がありますが、なかでも石炭や石油などの化石燃料の消費によって大量に発生する二酸化炭素や、家畜の牛のげっば、水田、廃棄物の埋め立て地などから発生するメタンは、温暖化への影響が大きく、国際的な枠組み（京都議定書やパリ協定など）においても削減が急務とされています。
問6	答え 3 発展途上国の生産者の生活を支えるため、市場価格の変動に左右されにくい適正な価格で継続的に取り引きする仕組み。	発展途上国の小規模な生産者は、国際市場の価格変動の影響を強く受けやすく、価格の暴落によって生活が困窮するリスクを抱えています。フェアトレードは、単なる一時的な寄付ではなく、労働に見合った適正な価格で継続的な取り引きを行うことで、生産者が将来の見通しを立て、自立した生活を送れるようにすることを目的としています。
問7	答え 1 フェアトレード（公正取引）	立場の弱い発展途上国の生産者に対し、労働に見合った正当な対価を支払うことで、貧困の解消や環境保全、生産者の自立を促す取り組みです。持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための重要な手段の一つとして位置づけられています。
問8	答え 3 スナック菓子や缶詰など、比較的傷みにくい食品において、おいしく食べることができる期限	「賞味期限」は比較的品质が安定している食品に表示されるもので、その期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。一方で、お弁当など傷みやすい食品には「消費期限」が使われます。これらを混同せず、特に賞味期限が近いものを積極的に選ぶことは、無駄な廃棄を抑制する消費者としての重要な役割（エシカル消費）の一つです。
問9	答え 4 リサイクル	使い終わった製品などを回収し、処理・加工して原料や資源として再生利用することをリサイクル（再生利用）と呼びます。ごみの発生自体を減らす「リデュース」や、使用済みの製品をそのまま再使用する「リユース」とともに、循環型社会を形成するための重要な取り組みです。
問10	答え 4 気候変動枠組条約	1992年の地球サミットで採択されたこの条約は、世界全体で地球温暖化対策に取り組むための基本的な枠組みを定めたものです。これに基づき、1997年には先進国に排出削減を義務づけた京都議定書、2015年にはすべての国が参加するパリ協定が結ばれるなど、段階的に具体的な対策へと発展してきました。
問11	答え 3 フェアトレード	市場価格が暴落しても、生産者が安定した収入を得られるよう適正な価格で継続的に購入する仕組みです。これにより、開発途上国における児童労働の防止や教育環境の整備、環境破壊の抑制など、生産者の自立と生活改善を支援する役割を担っています。
問12	答え 3 歴史的排出責任	過去100年間にわたる累積排出量の多さを根拠に、先進国が重い削減義務を負うべきだとする考え方を「歴史的排出責任」と呼びます。これは、現在の排出量のみを基準とするのではなく、工業化の過程で地球環境に与えてきたこれまでの負荷を考慮すべきであるという正義の観点から提唱されている概念です。
問13	答え 4 省エネルギー技術の導入や機器の効率化が進んだため	産業部門では工場の生産プロセスの改善や省エネ設備の導入が進み、運輸部門では自動車の燃費向上や物流の効率化が進められてきました。これらの努力により、経済活動を維持しながらも二酸化炭素の排出量を抑制する動きが統計にも表れています。一方で、家庭部門のように個人の消費行動が直接関わる分野では、同様の劇的な減少は見られていないのが現状です。
問14	答え 3 アメリカ合衆国は、世界第2位の規模ながら5000百万トン台の高い水準で安定して推移している。	1990年から2010年にかけての統計では、アメリカ合衆国は5000百万トン台という非常に高い排出水準を維持しています。中国は2000年代に入ってから急増してアメリカを抜き1位となりましたが、1990年時点ではアメリカの方が上位でした。日本は1000百万トン付近で横ばいの状態が続いており、インドは着実に増加傾向にあります。したがって、排出量が減少しているという説明や、日本が大幅な削減に成功したという説明は誤りです。